

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18
労働会館第2ビル
TEL 052-871-5433
発行人 見崎徳弘

第62号 1998年4月5日

悪政阻止！

不況打開・暮らしを守る

4.17決起集会

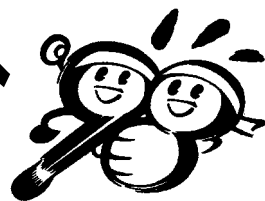
日時 4月17日(金)午後6時30分開会
場所 栄小公園(名古屋・栄交差点北角)
集会終了後 日銀名古屋支店までデモ行進

中京病院労組のスト突入集会(病院玄関前)



98春闘勝利へ

3.19 第1波全国統一行動



大幅賃上げ、悪政阻止

「2・26総行動」
「3・8中央大集会」に続き3月19日には、職場や地域で労働者が大幅賃上げで不況打開を、労働法制改悪反対を始めとした悪政阻止などの要求を掲げ、ストライキを含む諸行動に立ち上がりまし

医労連・中京病院労組など ストライキ決行!!

愛知県医労連は六組合がストライキに入りました。このうち健保労組中京病院支部は、八時三十分の始業時から二時間のストライキに入り、玄関前の突入集会では一五〇人の組合員が決起しました。
組合では大幅賃上げを始め、夜勤手当の引き上げ、準夜・深夜のタクシー代全額負担など諸手当改善、看護婦の増員など、約六十項目の要求で交渉をおこないましたが、しかし病院側は、医療改悪による病院経営の厳しさを人件費抑制でのりきろと、諸手当の削減や採算ベースの合わない科の定数減の提案をしてきました。
突入集会で挨拶した進士鶴夫支部長は、「大幅賃上げで不況打開、労働法制や医療の連続改悪反対を掲げ今日、全国の仲間が立ち上がっている。名南会労組はスト突入集会後地域へ医療改悪反対の署名を



決起集会で紹介。名古屋工場分会のストに入る仲間たち(名古屋駅西口広場で)

全動労東海地本 スト突入集会

全動労東海地本は十九日午後一時から、名古屋駅西口広場で八十人の仲間が参加し、スト突入集会を開催しました。東海地本の木下一彦委員長は、「この春闘、職場の仲間から全動労に大きな期待が寄せられている。JR東海の内部留保は五千四百六十六億円あり、四万五千円の賃上げは十分可能、不況下の春闘だ



職場集会で決起した名水労の仲間

ストライキで決起した看護婦の豊田信子さんは、「政治を変えないと根本的な解決はできない。今も玄関前でピラを配っていたら、患者さんが激励に来てくれた。社会保障の改悪で生活が苦しくなり、危機感があり、前より患者さんの反応はいい。共同して運動できる条件が広がっていると実感」と話してくれました。

食べて...

標準生計費体験

...寝るだけ!!

豊橋市職労青年部



山田章さんの体験談

豊橋市職労青年部は、公務員の賃金の元になる「標準生計費」で本当に暮らせるのか、身をもって体験しようとして「標準生計費体験」に五人の青年がチャレンジしました。人事院勧告でいう「標準生計費」は、公務員の賃金を決める重要な要素の一つで、標準的な生活を送るのに必要な生活費です。人事院は総務庁の家計調査や全国消費実態調査に基づいて算定しているから、生活実態を反映したものだといっているのです。
やってみて国の示す生計費は、「とんでもなく高くて、消費不況を克服するためにも大幅賃上げを」と挨拶。
半日ストに入った名古屋工場分会の七名の仲間を代表して佐藤健二分会長は、「職場アンケートでは、八十%が生活が苦しいと訴えている。私も出向年齢で、子どもの教育費のことを考えると、四万五千円は必要な賃上げ額。たまたまいぬ」と決意を述べました。
集会には愛労連を始め、国労や建設一般の仲間も激励に駆けつけました。
九八春闘の最大の山場を迎えた一九日夜には、ストライキや職場集会で決起した春闘共闘の仲間たち二千五百人が、名古屋市中区栄の久屋市民広場で開かれた「3・19春闘総決起集会」に参加しました。
東京から激励に駆けつけた佐原中央春闘共闘事務局次長は、全国の仲間の奮闘

'97年人勤標準生計費 128,660	
費目	2週間の支出合計
主食	1,515
副食	4,582
嗜好品	960
給食・外食	5,650
食料総合計	¥12,707
住居関係費	7,245
水・光熱費	4,065
住居総合計	¥11,310
被服・履物類	0
保健医療費	0
理容衛生費	0
交通・通信費	4,222
教育費	0
教養娯楽費	22,570
雑費I合計	¥26,792
交際費	2,000
社会活動費	3,096
自動車関係費	0
その他	0
雑費II合計	¥5,096
総支出合計	55,905

山田章さん(27歳)の家計簿
体験期間 '98年2月9日~23日までの15日間

3・19愛知 総決起集会

二、五〇〇人が参加

九八春闘の最大の山場を迎えた一九日夜には、ストライキや職場集会で決起した春闘共闘の仲間たち二千五百人が、名古屋市中区栄の久屋市民広場で開かれた「3・19春闘総決起集会」に参加しました。
東京から激励に駆けつけた佐原中央春闘共闘事務局次長は、全国の仲間の奮闘



を紹介しながら、「JCの低額回答は景気回復の足を引っ張るものと批判し、「財界・企業の賃金抑制を打ち破ろう」と訴えました。

新入職員のみなさんへ

先輩組合員から一言

組合活動で自分再発見を!

ダンスを通じて広がった仲間の輪

私にとって歌と踊りは自己表現に欠かせないものだったけど、今同時に二つも実現できた。

そして何のために歌い踊るのかについて一つの答えを覚えてくれたのが「ナイ スウェーブ・ブキ」



去年、愛知で開催された「医療のうたごえ祭典」を名南会労組・浦里恭子

通じ「うたごえは労働運動とともに」の姿勢を学んだ。

いろいろな集会で歌い踊る時、たまたか労働者からの熱熱な連帯の拍手は普通のコンサートでは得られない感動だった。

この六月、医療労働者として学び、成長してきた。ダンスを通じて仲間の輪もどんどん広がった。本当に人生一の幸せ者になった。この幸せをあなたにも是非!

メーデーのルーツ

第69回愛知中央メーデー実行委員会

会場 白川公園

10:00 開会

'98.5.1(金)

メーデーのルーツ

メーデーは、アメリカの労働者が八時間労働制を要求して、五月一日にゼネストで立ち上がり、世界の労働運動に共同を呼びかけたことが出発点です。

いま日本では世界の時間短縮の流れと逆行し、財界の意向を受けた労働省が、裁量労働制や変形労働制の拡大、短期雇用契約制などの労働基準法改悪案を国会に上程しています。

友人が全国に広がった

新しい出発に胸をときめかせている皆さん、組合加入について先輩からお誘いがあるかと思いますが、私の体験から感じたことを紹介します。



私は青年部の活動を通じて、職場では体験できなかった新しい発見、いろんな会社や職種の人達と知り合い、遊ぶときはとことん遊び、学習するときには分かるまで突き詰めて、腹を割って話ができるすばらしい友人が全国に広がりました。

自治労連・川瀬雅裕

一緒に喜び、悩んでくれるステキな仲間

組合に入ってから一番良かったのは、ステキな仲間たちに出会えたこと。それぞれに仕事や社会に対して問題意識を持って考えて、実践している人たちの集まりだから、とにかく「濃い」。

静かにじっくり話し合うこともできる。一緒にいる時間はとても充実していて、楽しくて仕方がない。

愛高教・堀 直子

8時間労働制求めて 決起した日

決起した日

プラカード・デコレーションコンクール

しめきり 五月一日九時三十分

JR職場の 変形労働時間の拡大は

いのちと

健康をおびやかす

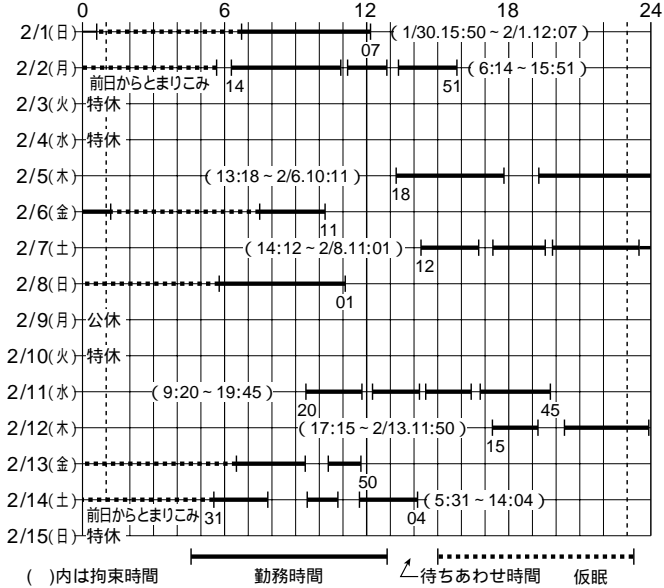
勤務時間も拘束時間もバラバラ

今年国会にかけられている労働基準法改悪案は、変形労働や裁量労働の拡大で、一日八時間労働の概念をなくし、一日または一週間の生活リズムをバラバラに、家庭生活や働く者の命と健康を脅かすものです。

乗務員の精神 疲労が増大

このような勤務が労働者の健康や家庭にどう影響するのか。組合は、九一年に運輸職場の家庭・労働実態調査をしました。この中で、精神疲労を感じる人がどの年代を通して多いことや疲労の原因が、運転中のスピードアップや機器の扱い、長時間拘束、厳罰・賃金カットの出場遅延(列車の発車の遅れ)などがあげられ、気の休まる時がない実態が明らかにになりました。

佐々木さんの2/1~2/15までの勤務表



「変則勤務で家族との団らんが少なく、拘束時間が長く疲れをいつも持ち越している。組合では乗務員の健康や鉄道の安全面から増員と時短の運動を強めている」と佐々木さん。

愛労連結成まで

シリーズ 2 井上 利雄(前愛労連議長)

ナショナルセンターをめぐる熱き討議

愛労連・全労連結成の準備活動が進む一方で、これに先行し、民間の大企業労組を中心に、官公労の一部を加えたもう一つのナショナルセンター「連合」結成の動きも急展開していった。

愛知では「連合」の地方組織の「連合愛知」が八九年三月一日に発足して十一月下旬には総評解散、ナショナルセンター「連合」の旗揚げという日程で進んでいました。

従ってこの時期は、ナショナルセンターの選択をめぐる日本の労働運動史上初めて、労働者・労働組合がつかない規模で、労働組合や労働戦線の統一、ナショナルセンター、ローカルセンターの役割、さらには「連合」路線に反対し、階級的ナショナルセンターを作る意義などについて討議を重ね、「労働組合の選択権」の自由行使し、自らが歩む道を選択した時期でした。

とりわけ、自治労、愛教組、全金、全国一般などの上部単産の執行部が「連合」傘下を追求している組合では組織分裂が予想されるだけに、その選択は深刻なものがあろうと決意を必